



# 笹岡優 四国を駆ける



発行：日本共産党国会議員団四国ブロック事務所 高知市上町2丁目4-19 電話 088-826-3560 FAX 088-823-7076

「自民党員でやっていたが、民主党も頼りないから共産党をやる」  
大きな変化の鼓動が



松山市議選の4候補(手前)と訴える(車上下右から)仁比参院議員、笹岡、田中比例予定候補(28日、松山市)

仁比聡平参院議員が四国入りした先月27、28日に同行。今治市でハリソン東芝の派遣切りで労働組合を結成してたたかう女性労働者と懇談。「たたかいは楽しい」との言葉に私の方が励まされました。高知市での後援会決起集会に参加。翌日は、松山市駅前、八幡浜市、宇和島市での演説会で、仁比議員とともに訴えました。

月末から7月初めにかけて高知市で、むし暑い雨の中、港南地域の支部の方々と訪問・対話、拡大行動に。30軒近くにごあいさつ。「自民党員でやってきた。表彰もされたけど、母子加算まで削るひどい仕打ちに腹が立っている。民主党も頼りないから共産党をやる」との激励が。大きな変化の鼓動が。高知1区で奮闘中の春名なおあき元衆院議員と、支部主催の「つどい」に。この2日間、高知市内でフル活動しました。

「JA高知はた」の理事長や四国4県のコープ生協の理事長、市の担当者などをはじめ役員の方々が、四万十市に集い「農業生産者団体と消費者団体の意見交換会」が開かれました。村上信夫高知3区予定候補、地元議員なども参加して率直で有意義な意見交換が行われました。「四国の農産物を四国で」へ大きな可能性が広がる会になりました。

大西正祐党高知県幡多地区委員長が高知新聞企業から出版した『二人の特攻隊員』の出版記念パーティーに出席。出版に携わった関係者や大西さんと親交の深い各界の方、同級生など幅広い参加で楽しい交歓ができました。綿密な調査と証言にもとづいてつづられたノンフィクションで、大西さんの感性和視点は鋭く、迫力が伝わってきます。19歳、20歳という若さでなぜ死ななければならなかったのか。

「7・5シンポジウムin内子」(農業再生と地域



「JA高知はた」と生協の懇談(7月3日、四万十市)

農業を考えるつどい)に参加しました。内子町、同農業委員会、同町商工会、愛媛たいき農協など11団体で構成する実行委員会の主催で開かれました。パネラーは内子町長、JA愛媛たいき組合長、地元生産者代表、有坂哲夫日本共産党農漁民局長、コーディネーターは村田武愛媛大学農学部特命教授と凄いメンバーが勢ぞろい。「え!このシンポに共産党の農漁民局長が来てくれた!」と驚嘆と党への期待がこもった会話が農民のあいだで交わされていきました。食の安全、自給率の向上、農業の再生はまったなしです。

活動の合間に、インターネット「ザ・選挙」(7月15日公開、5分間)用のビデオ撮り。緊張して失敗しながらも完成。私のブログに掲載しています。DVDも作成してもらいました。大いに視聴者を広めてください。



7・5シンポジウムin内子(7月5日、内子町共生館)